

(地域密着型) 特別養護老人ホーム櫻ホーム西神

(認知症対応型通所介護) デイサービスセンターさくらさく

令和6年度 第1回運営推進会議 議事録

日 時：令和 6年 4月 18日 (木)

時 間：10:00~11:00

開催場所：櫻ホーム西神 4F 多目的室

出席者：別紙参照

1 自己紹介・あいさつ

(1) 出席者と参加者の自己紹介

(2) 施設長挨拶：本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。前回は3月に開催し、連続で申し訳ありません。4月に介護報酬、診療報酬改定があり、先月家族会を開催し説明させていただきました。また、先日オリエンタルホテルで事業計画説明会を開催し、今年度の取り組みを発表しましたが、今年度は外出・地域にこだわって取り組んでいきたいと思っています。引き続きよろしくお願い致します。

2 事業運営に係るご報告

以下、別紙(令和6年第1回運営推進会議櫻ホーム西神)をもとに説明を行った。

(1) (地域密着型) 特別養護老人ホーム櫻ホーム西神

① 稼働率 (P4)

資料に沿って現状の説明を行う。

資料の訂正：令和5年度ショートステイ含む合算の平均 96.25→97.45

目標 98%に対し、令和5年度の平均はユニット型：95.77%、地域密着型：98.15%、合算：96.25%、ショート合算：97.45%となっている。空床ショートステイ利用率は目標 30%に対し、平均：31.37%と目標達成できている。令和6年度も、引き続き稼働目標 98%を目指す。

② ご入居者の概要 (P5・6)

資料に沿って説明を行う。

保険者別利用状況はユニット型 神戸市(49名)、三木市(22名)が多い。地域密着型は神戸市在住の方のみの利用となっている。平均介護度はユニット型：3.87、地域密着型：3.68となっている。要介護1・2の入居者(特例入居)については、身体機能の回復、精神状態の安定などにより入居当初より介護度が軽くなっているが、介護者がいないなどの理由となっている。

③ 入院者の概要 (P7)

資料に沿って説明を行う。

現在入院者3名。医療・家族との連携を密に、情報共有し早期の退院に向ける。

④ 入居申し込み状況 (P8)

資料に沿って説明を行う。

4月15日現在の待機者数は、ユニット11名(男性8名 女性3名)、多床室6名(男性1名 女性5名)となっている。平均介護度は3.1で、平均年齢は76.2歳となっている。

待機者獲得に向け営業を行っていく。

⑤ 職員の動向 (P9)

資料に沿って説明を行う。

3月退職者 正規介護職員 2名(介護1、事務1)、パート職員 3名(介護1、看護2)となっている。4月入職者 正規職員 4名(介護2、管理栄養士2) 5月には介護職員2名が入職の予定である。引き続き看護師・調理員の募集をしている。特に看護師の確保が難しい。地域の方にもご協力いただきたい。

⑥ 事故・苦情の発生状況 (P10~14)

資料に沿って説明を行う。

(P10) 令和5年度ユニットの事故総数は435件。内、転倒・転落は287件と一番多い。

(P11・12) 令和6年度4月の事故について報告。誤薬について、眠前薬を異なる入居者に服用させた可能性があった。確認不足が原因のため、必ず氏名確認を行うよう徹底する。転倒事故について、居室内でポータブルトイレからベッドに移ろうとされ転倒される。居室内の環境を見直す。

(P13) 令和5年度多床室の事故総数は79件。内、転倒・転落は44件と一番多い。

(P14) 令和6年度4月の事故について報告。誤薬について、床に薬が落ちているのを発見する。服薬時には飲み込み確認を行う。薬のセットの方法などマニュアルを統一し、誤薬事故をなくすよう対策を検討している。

⑦ イベントと活動内容報告 (P15・16)

写真にて家族会の様子、事業計画説明会の様子、櫻ホーム西神診療所山田医師の紹介を行う。

家族会ではZoomも活用し参加していただき、重要事項の説明を行った。1年間の取り組みを写真で紹介し、レクリエーション活動の様子などコロナ禍でなかなか施設での様子がわからない中だったこともあり、家族に喜んでいただけた。事業計画説明会では、桜谷福祉会の5ヶ年の事業計画についても発表した。櫻ホーム西神診療所医師には狩場台のクリニックヤマダの医師が4月から常勤医として就任している。

(2) デイサービスセンターさくらさく (P18~25)

資料に沿って、以下の内容を報告する。

① 利用状況について (P19)

登録者数は26名(男性10名、女性16名)、平均介護度は2.0、平均年齢は84歳となっている。

② ご利用者概要について (P20)

表を用いて地区別、回数別、要介護度別の利用状況を説明する。地区では押部谷に次いで美穂が丘と近隣が多いが、竹の台・学園東など遠方からの利用もある。回数は週2回利用の方、次いで3回の方が多い。要介護度は1の方、次いで3の方が多い。

③ 稼働率について (P21)

目標80%に対し令和5年度は平均73.8%と達成できなかった。登録者数が増えなかったことや、施設入居となった方、お亡くなりになった方、2月にコロナ感染があったことなどが原因である。

④ 事故の発生・苦情状況と詳細について (P22)

3月に転倒事故が1件あった。椅子から立って歩こうとされ転倒された。ヒヤリは2件あった。

⑤ イベントと活動内容報告 (P23)

レクリエーション活動の様子を写真で報告する。風船バレー、おやつレク、将棋など楽しまれた。また、まほろばパンの移動販売ではパンを選びお金を払って、買い物の実践ができています。

⑥ 認知症カフェの開催・地域活動について (P24)

3月15日、認知症カフェではミニ講座を開催した。また、デイの家族会も開催し2名の方が参加された。3月23日コープフェスティバル月が丘に参加し、体組成計測定・介護相談のコーナーを設け17名の方にご利用いただけた。

4 その他（質疑応答）

(1) 委員：転倒事故が多いが、下肢筋力をつける方法はないのか。

【回答】理学療法士が個別に目標を設定し個別機能訓練計画書を作成している。運動をして筋力を向上させることはなかなか難しいので、安全対策として環境整備が中心になっている。

委員：歩くだけでも違うと思うが、施設内を歩かせるようにはしないのか。

【回答】個々の希望は聞いて計画を立てているが、一人一人について歩行訓練をすることは難しいところもある。日常的に移乗、立ち上がりなど生活動作がリハビリになっているので、生活リハビリを継続している。

(2) 委員：事故が起きた時の処置や救急搬送時のマニュアルはあるのか。また、あればどのように徹底しているのか。

【回答】夜間帯に転倒事故などが起きた時のマニュアルは作成している。意識の有無、外傷の有無、痛みの有無などで看護師にオンコールするかどうかの判断もマニュアル化しており、オンコールにより看護師の指示を受けることになっている。マニュアルは職員各々が確認している。

委員：家族連絡はいつするのか。

【回答】受診が決まった時点で連絡している。受診につながる事故があれば2日以内に神戸市に報告している。

委員：マニュアルは職員に周知徹底できているのか。

【回答】周知できているかどうかは課題がある。タイムリーに情報共有できるようにしていきたい。

(3) 委員：オリエンタルホテルで事業計画説明会があったとのことだが、交流会はあったのか。親睦を深めるいい機会だと思うが。

【回答】4月1日に施設内で辞令交付式が行われたが、その際、職員が集まって立食の機会があった。

委員：毎年されているのか。

【回答】毎年開催されている。

(4) 委員：転倒事故が多いのが気になる。足の訓練はしていかないと弱ってしまう。一人ずつするのは大変だと思うが、頑張してほしい。

【回答】身体能力が低下しないようにしていきたい。

(5) 委員：今朝、デイサービスの職員が利用者の自宅に入り窃盗した事件のニュースがあった。ここではどのように対応しているのか。

【回答】誤解を生まないように家の中に入るのを避けたいと思うが、荷物の準備ができない方など、家の中に入る必要がある方もいて課題がある。

4 さいごに

・4月から報酬改定あり、加算も増える。そのため、家族に丁寧に説明し算定していく。デイについての算定はないが、特養については、個別機能訓練加算Ⅲを追加予定している。また、生産性向上加算が新設され、介護ロボットやICTを導入し業務改善することで算定できる加算が増える。当施設ではWi-Fiスポット、眠りスキヤンの導入など対応している。眠りスキヤンはベッドに設置することで、モニターで心拍、呼吸・睡眠状態、離床が確認できる。100床中65床すでに導入しており、残り35床も検討中である。夜間睡眠時の無駄な訪室を避ける、安否確認、看取りの方の心拍の可視化など活用していきたい。また、膀胱に尿が70%溜まるとアラームが鳴り、排せつのパターンを把握できる機器(D'free)も2台導入している。リフトは35床設置しているが、転倒した方を抱き起すことのできる床走行リフトも導入している。ICTの活用により職員の負担を軽減していきたい。また、医療との連携もタイムリーに情報共有を進めていきたい。

(質疑応答)

委員：かなりの費用が必要になると思われるが、利用者に負担をかけることはないのか。

【回答】兵庫県から3/4の補助がある。

委員：生産性と言うが、介護は人対人。人との交流が一番大事。サ高住に入居している方で、夜中に本人から家族に連絡があり、駆け付けたところ「喉が渴いた。水が飲みたい。」と言われた。家族が異変を感じ救急車を呼んで病院搬送したが、お亡くなりになってしまったということがあった。夜勤の職員は画面で安否確認をしていたが、画面で確認しているだけではわからない。定期的に何かしているから良いではなく、対面での関りを大事にしてほしい。

【回答】機器に頼ると便利ではあるが、目で確認しなくなる恐れがある。訪室も行い、見守りを強化していきたい。機器の導入だけでなく、介護職員の採用も進め人員を確保している。4月よりベトナム人4名が入職しているが、全員介護福祉士の資格を持った優秀な人材で日本語の理解も良くできており、入居者とのコミュニケーションもとれている。ご指摘をいただいたことについて周知し、対面での関りを大事にしていきたい。

・今年度は、入居者のQOLをあげていく取り組みをしていきたい。レクリエーションを強化したいと考えているが、そのためにも人材確保が必要。調理員も募集している。アルバイトでも助かるのでお願いしたい。

・稼働率目標98%に対し、令和5年度は97.45%だった。目標達成できるようチームで取り組んでいきたい。空床を活用できるようショート利用を広めていき、地域に貢献したいのでお声掛けいただきたい。

・地域の方にデイを利用していただきたいと考えている。認知症カフェに参加していただくだけでもいいのでお声掛けいただきたい。利用につながらなくても、地域の皆様のお役に立てると思うので、お気軽にご相談いただければ。

出席者

(第三者委員)

小川 薫	月が丘自治会 会長
福永 君江	押部谷西民生委員児童委員協議会 会長
納見 年子	桜が丘ふれあいのまちづくり協議会 委員長
後藤 陽子	おしべあんしんすこやかセンター

(櫻ホーム西神、デイサービスセンターさくらさく)

馬場 宏知	施設長
内田 創一郎	デイサービスセンターさくらさく管理者
北野 諭士	介護課長
松崎 淳子	施設介護支援専門員